



2020年 9月22日
第34号

JR 東労組 Yokohama



JR 東労組横浜地本
発行人 助川一実
編集情報担当
ホームページ
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



2020地本政策フォーラム開催①

横浜地本は9月13日、「2020横浜地本政策フォーラム」を開催しました。今回はコロナ禍を踏まえて人数制限を設けての開催となりましたが、6機関の提言が行われ参加者との活発な議論が展開されました。



助川委員長
挨拶（要旨）

この間職場で奮闘されてきたすべて組合員にお礼と感謝を申し上げます。寝ても覚めてもコロナ、深刻な経済へのダメージなど、厳しい情勢に晒されています。そのような中でも労働組合としての活動を絶やさず取り組みを続けてきたことに心から敬意を表します。

今年の政策フォーラムは、提言をつくりあげる運動過程を重視することをテーマとしました。6機関の提言は、内容の優劣や代表選手というわけではありません。代表を選考し、その代表を本部政策フォーラムに押し上げていくという従来の形では考えていません。

中央本部は9月9日に「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」を提出しました。今回の「緊急提言」に関連させ横浜地本の提言を練り上げます。

私たちが危機の根拠を突きささせ難局を突破するためにさらなる組織強化・拡大が不可欠です。組織拡大の具体的な目標、運動づくりの具体的な目標をたて、たかいたかいを開始しましょう。



JR東労組本部
佐藤副委員長
挨拶（要旨）

第1回政策フォーラムで当時の松崎委員長は私鉄大手14社以上の良い職場をつくる、会社をつくる為に組合員も意識変革が必要だと問題提起しました。今、組合員一人ひとりに意識転換・危機感を図っていかなければいけません。その為に、①9月9日に雇用と職場を守る為に「JR東労組緊急提言」を提出。JR発足以降初めて雇用問題の危機に直面しています。組合員と共に意識を共有し、意思統一をして、個人の意識を組織の意志に高めていく事が必要です。②職場の中で自らの雇用と利益を守る議論、黒字にする為にどうするべきかと労働組合から政策を練り上げていきましょう。③雇用危機に直面しているからこそJR東労組へ結集を呼び掛けて頂きたい。休業指示に関して、議事録確認解説集を発行していきますので読み合わせをしていきましょう。

このまま組織拡大ができなければ東労組運動は縮小という瀬戸際にいます。力を合わせて組織拡大を実現しましょう。

発表機関・発表テーマ・提言内容



川崎支部『コロナ禍における組合員と生活設計～住環境「社宅の15年ルール」に関する報告』

- ①社宅居住制限の導入実施日の延長
- ②それが出来ないのであれば、社宅居住制限の特例措置を希望者には柔軟に運用する

横浜支部「新型コロナウイルスに関する支部アンケート」
新型コロナウイルスアンケートを元に更なる安全・安心・働きがいのある職場を実現していくため、組合員の皆さんと共に進んでいく！



相模原運輸区分会「安全で安心して働けるジョブローテーションに向けて」

- ①異動の際は、必ず本人希望を尊重すること！
- ②異動は概ね10年ではなく、在籍年数10年以上とすること！
- ③異動の時期を明確にすること！

②に続く